

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）
 （機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））
 平成 24 年 6 月分（10 月 31 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H24.6.13	残留熱除去系 （原子炉停止後の崩壊熱を除去する設備）	2 台ある残留熱除去系熱交換器のうち 1 台において、当該熱交換器のバイパス弁が全開表示にもかかわらず現場開度計の指示が全開になっていないことを確認した。 原因調査の結果、当該弁の現場開度計の表示不良によるものと推定した。 このため当該開度計の取替を実施し復旧した。	処置済み	原子炉 建 屋
2	H24.6.16	原子炉系入出力装置 （原子炉系のプラントデータのうち安全系などを除くパラメータの入出力処理を行う装置）	原子炉系入出力装置において、装置の異常を示す警報が発生した。 このため、当該装置を確認したところ、当該装置内の基板の伝送不良を確認したため、当該基板の抜き差しを実施し、外観点検で異常がないことを確認し復旧した。 原因調査の結果、当該基板の抜き差しを実施し、本事象の再現性がなかったことから、一過性の伝送不良であったものと推定したが、念のため、当該基板を予備品と交換した。	処置済み	原子炉 建 屋
3	H24.6.19	低電導度廃液系 （原子炉水等の高純度で比較的放射能濃度の高い排液を処理し再使用するための設備）	低電導度廃液系にて処理した水を復水貯蔵槽へ移送中に、処理水の全有機炭素濃度の値がゼロとなったため現場を確認したところ、全有機炭素濃度計のアラームランプが点灯していることを確認した。 <u>原因調査の結果、当該全有機炭素濃度計内の検出部の不良と推定した。</u> <u>このため、当該検出部の交換を実施し復旧した。</u>	<u>処置済み</u>	サービ ス 建 屋

4	H24.6.28	プロセス放射線モニタリング設備 (放射線を連続的に測定・監視する設備)	プロセス放射線モニタリング設備の排気筒核種分析装置制御盤の異常を示す警報が発生し測定ができないことを確認した。 原因調査の結果、当該装置制御盤へデータを伝送するためのケーブルが断線したことによるものと判明した。 このため、当該ケーブルを交換し復旧した。	処置済み	屋 外
---	----------	--	--	------	-----

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。